

令和5年度 事業報告

I 概要

令和6年元日早々、能登半島地震が発生しました。被災された方々、また、被災地にご家族やご友人をお持ちの方々に心からのお悔みとお見舞いを申し上げます。

さて、昨年5月に新型コロナウイルス感染症の法的な分類が「5類」に移行し、社会生活は日常を取り戻した感があり、当センターの事業活動も徐々に回復基調となりました。

一方、コロナ禍の反動は人手不足など新しい課題を突きつけています。青森労働局は、県内企業の令和5年6月1日現在の高年齢者雇用状況を公表しました。

定年制廃止や継続雇用など希望者が70歳まで働くことができる制度を導入している企業は38.2%で全国平均の29.7%を上回り、全国で4番目に高く、また企業に義務付けられている65歳までの雇用確保措置の実施率は100%となっています。これは、人口減少や少子高齢化を背景に、県内中小企業の人手不足が深刻化していることが影響しているとみられています。

このような状況の中、八戸市における労働市場の状況は令和4年度に比べさらに悪化しており12月の有効求人倍率は1.55倍と、県全体の1.28倍、全国の1.32倍よりも高い数値を示しており、依然として人手不足感が顕著となっています。

当センターにおいても会員数の減少により受注対応ができない件数が散見されるようになってきたため令和5年度より夫婦会員制度を導入、さらに1月から3月新規入会者の会費免除など会員拡大策に取り組みました。その結果、会員、役職員の協力により、計画目標は達成できませんでしたが、昨年度を上回る会員数となりました。ここ数年来の会員数の減少傾向に歯止めが打たれたことは喜ばしいことではありますが、単年度のみの結果に一喜一憂するのではなく、さらに増加傾向に転じるよう取り組んでいかなければなりません。

事業関係では、受託事業及び労働者派遣事業とも堅調に推移していますが、反面、安全対策については、パトロールを増やし対面での注意喚起に加え、職群班に対して全シ協発行の『安全ニュース』を送付するなど、事故事例等を「他人ごと」ではなく「自らのこと」として認識するよう安全意識の徹底を図りましたが、就業中の傷害事故が昨年度から8件増の17件となりました。

以下、個別の事業実施状況を報告します。

II 事業実績

1 第7次中期計画

本計画最終年度の目標が着実に達成されるよう、積極的かつ効果的な取組みを展開しました。目標値の達成状況は次のとおりです。

① 目標と実績との対比

会員数は1,324人の目標に対し16人及ばず、達成率は98.8%でした。契約金額は目標額622,000,000円に対し、実績は655,330,606円と目標を上回り、達成率105.4%となりました。就業延人員では達成率113.4%と目標を13,617人日上回りました。就業率は90%の目標に対して、実績は96.9%でした（表1）。

表1 項目別目標の達成状況

項目	令和5年度目標	令和5年度実績	増減	達成率 (%)
会員数 (人)	1,324	1,308	△ 16	98.8
契約金額 (円)	622,000,000	655,330,606	33,330,606	105.4
就業延人員 (人日)	101,680	115,297	13,617	113.4
就業率 (%)	90.0	96.9	6.9	107.7

【各目標値は、受託事業(請負・委任)と労働者派遣事業の合算値】

② 会員登録状況

会員の登録状況は、男性856人・女性452人（表2）、年齢別構成では70歳から74歳までの年齢層が全体の36.4%を占めています（表3）。平均年齢は全体で73.7歳（表4）、最高齢は男性90歳・女性95歳となっています（表5）。

表2 男女別構成

区分	令和5年度	令和4年度	増減
男性 (人)	856	856	0
女性 (人)	452	425	27
合計 (人)	1,308	1,281	27

表3 年齢別構成

区分	男 (人)	女 (人)	合計 (人)	構成比 (%)
60歳未満	0	2	2	0.2
60～64歳	29	31	60	4.6
65～69歳	187	89	276	21.1
70～74歳	325	151	476	36.4
75～79歳	210	110	320	24.5
80歳以上	105	69	174	13.3
合計	856	452	1,308	

表4 平均年齢

男性	女性	全体
73.6歳	73.8歳	73.7歳

表5 最高年齢

男性	女性
90歳	95歳

Ⅲ 事業実施報告

1 就業機会提供事業

多様化する会員の働き方に対応するため、シルバー事業の根幹をなす受託事業のほか労働者派遣事業または有料職業紹介事業のいわゆる『事業の3本の柱』を基礎に、それぞれの仕組みに応じた活用を図り、就業機会の提供拡大に取り組みました。

(1) 受託事業（請負・委任）の拡大

会員の就業機会の確保に向けた潜在的な地域ニーズの掘り起こしや新たな就業分野の開拓を行うなど、センターの根幹をなす事業の一層の拡大に取り組みました。実績は、次のとおりです（表6）。

職群別契約金額の構成比では、大工・塗装・庭木剪定などの技能群、施設管理や物品管理などの管理群、屋内外軽作業など一般作業群の3職群で全体の95.3%を占めています（表7）。

表6 受託事業実績

項目	令和5年度	令和4年度	増減	対前年度比(%)
契約金額(円)	375,436,558	368,458,591	6,977,967	101.9
就業延人員(人日)	78,979	78,405	574	100.7

表7 職群別事業実績

職群別	受注件数(件)	就業延人員(人日)	契約金額(円)	構成比(%)
技術群	6	489	4,151,543	1.1
技能群	1,496	8,847	46,033,571	12.3
事務群	208	4,021	4,051,779	1.1
管理群	89	32,474	123,174,146	32.8
折衝外交群	6	158	1,247,400	0.3
一般作業群	2,711	31,298	188,428,799	50.2
サービス群	260	1,692	8,349,320	2.2
その他	0	0	0	0.0
合計	4,776	78,979	375,436,558	

(2) 労働者派遣事業（シルバー派遣）の推進

シルバー事業の適正化の推進とともに多様化する就業形態に対応するため、労働者派遣事業を積極的に推進し、就業機会の拡大に努めました。実績は次のとおりです（表8）。

表8 労働者派遣事業実績

項目	令和5年度	令和4年度	増減	対前年度比(%)
契約金額(円)	279,894,048	261,138,569	18,755,479	107.2
就業延人員(人日)	36,318	34,719	1,599	104.6

(3) 有料職業紹介事業の推進

臨時的、短期的またはその他の軽易な業務の雇用就業を希望する高年齢者に対する有料職業紹介事業を推進しました。実績は次のとおりです（表9）。

表9 有料職業紹介事業実績

区 分	求人件数 (件)	求人数 (人)	紹介者数 (人)	就職者数 (人)
令和 5 年度	37	115	115	115
令和 4 年度	40	148	148	148

2 就業機会確保事業

(1) 安全・適正就業対策の強化

① 安全就業対策

安全意識の徹底とその高揚を図り、事故の根絶に向けた取組みを下記のとおり実施しました。安全パトロールは、コロナ明けでもあり、昨年より多くの就業現場に出向いて対面での安全喚起を図りましたが、残念ながら、傷害事故は昨年度より8件増加し、17件となりました。因みに、うち7件は蜂刺されによるもので、幸いにも重篤事故はありませんでした（表10）。

○ 具体的取組

ア 安全・適正就業委員会による安全パトロールの実施（表11）

イ 安全講習・研修の実施（表12-1、12-2）

ウ 公園班・草刈班に対する飛び石防止用防護ネットの貸与

エ 事務局休業日および夜間における緊急連絡体制の整備

オ 「事務局だより」を活用した安全就業および健康管理に関する情報の提供

カ シルバー保険（傷害・賠償責任）及び情報漏えい保険への継続加入

表10 事故発生状況

	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減
傷害事故 (件)	17	9	8
損害事故 (件)	8	9	△ 1
合 計	25	18	7

表11 安全パトロール

期 日	場 所
7月 5日	北インター工業団地・卸センター・根城街路・個人発注者宅
7月 7日	売市街路・伝昌寺・八戸工業大学・個人発注者宅
8月 13日	東霊園・西霊園・南郷中央霊園
9月 25日	三八城公園・八太郎3号ふ頭緑地・個人発注者宅

表12-1 安全講習

講習会名	期日	場所等	受講者数(人)
チェーンソー安全操作講習	4月26日～28日	新井田インドアリンク会議室	22
刈払機安全操作講習	1月16日・23日	児童科学館	11
除雪機安全操作講習	3月14日	東霊園	6
塵芥収集車安全教育講習	3月27日	東霊園	21
合 計			60

表12-2 安全研修

職群班	期日	場所
公園班	2月29日	東 霊 園
庭木班	3月21日	福祉公民館
草刈班	3月28日	福祉公民館

② 適正就業対策

受託事業から派遣事業への移行やローテーション就業の拡大または職業紹介事業の積極的活用を推進することにより、就業の適正化に努めました。

(2) 普及啓発事業の展開

シルバー事業の理念や仕組み等を地域社会に広く周知するとともに、働くことに特化することなく、生きがいや居場所づくりを目的とした啓発による入会促進、さらに地域貢献や地域の信頼を得るための活動を普及啓発委員会を中心に実施しました。

○ 活動内容

- ア 市内全域へのチラシの配布
- イ バス車内アナウンスによる広報
- ウ 公共施設へのポスターの掲示・会報『黄菊』及びパンフレットの配置
- エ ホームページを活用した入会の受付及び広報
- オ BFMなどマスメディアを通じた情報の発信
- カ 「はちのへシルバー人材センター生き活きまつり」の開催（表13）
- キ ボランティア活動の実施（表14）
- ク 入会説明会開催によるシルバー事業の啓発
- ケ ハローワーク主催「シニア向け就職支援セミナー」での広報

表13 はちのへシルバー人材センター生き活きまつり

期 日	6月25日（日）
場 所	八戸ポータルミュージアム『はっち』・はちのへホコテン
来場者数	166人（チラシ同数配付）

表14 ボランティア活動

場 所	期 日	活 動 内 容	参加者数 (人)	備 考
みどりと彫刻のふれあい散歩道	9月27日・28日	樹木剪定等	23	庭木班
北インター工業団地1号線	11月21日	雑草木除伐	26	公園班
合 計			49	

(3) 就業開拓提供事業の展開

新たな就業分野の掘り起こしや就業機会の拡大を図るため、役職員による民間事業所及び公共団体等への訪問による就業開拓を展開し、会員の希望する仕事の提供に努めました。またホームページからの仕事の申し込みやコンビニエンスストアからの代金支払いを可能とする「エイジレス80アクティブ」を継続導入し、受注事務の迅速化・簡略化並びに入金事務の効率化を一層推進することで発注者に対する利便の向上を図るとともに、商工会議所発行の商工ニュースを通じて、民間事業所など約4,000社に対し、9月と2月に発注依頼のチラシを送付するなど受注の拡大に努めました。

(4) 講習・研修事業の実施

会員の知識・技能の習得並びに向上を図るとともに就業機会の拡大に資するため、次のとおり講習および研修を実施しました（表15）。

表15 技能講習・職群班研修等

講 習 会 名	期 日	場 所 等	受講者数 (人)
庭木剪定講習	6月26日・27日	東 運 動 公 園	16
草刈講習	6月30日	東 霊 園	6
スマートフォン教室	7月6日	福 祉 公 民 館	15
訪問型日常生活支援事業訪問 支援員養成研修	10月3日	福 祉 公 民 館	25
接遇講習	1月30日	福 祉 公 民 館	61
うみねこヘルパー養成研修	2月16日	福 祉 公 民 館	15
家事援助講習	3月21日	福 祉 公 民 館	8
庭木管理研修(庭木班対象)	9月26日～28日	福祉公民館・みどりと彫刻のふれあい散歩道	23
毛筆筆耕研修(毛筆班対象)	5月～3月(随時)	福 祉 公 民 館	16
合 計			185

3 情報の提供等

講習の開催日程や行事の諸連絡及び安全就業推進のための情報並びに就業会員募集等すべての会員に情報を提供するため、事務局だよりを発行しました。

また、一般市民に対する情報提供を強化するため、ホームページの利用促進を図るとともに会報『黄菊』を公民館等24施設に配置をしました（表16）。

表16 情報の提供

項目	回数	対象者	備考
事務局だより	年6回	会員	奇数月の発行
会報『黄菊』	年1回	会員・一般市民	公民館等24施設に配置
ホームページ	随時	会員・一般市民	

4 福利厚生の実施

シルバー人材センター団体傷害保険や熱中症見舞金制度への加入を継続するとともに「事務局だより」を通じて熱中症・インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症予防に関する手洗い、うがいの励行、マスクの着用等の呼びかけ等を実施し、会員の健康維持・増進に努めました。また、新入会員に対するSCマーク入り作業帽の頒布や永年在籍会員の表彰を20年在籍会員にも拡充し表彰の対象としました。

5 諸会議の開催

センターの維持管理および事業運営の執行に関して必要な会議を、次のとおり開催しました（表17-1、表17-2）。

表17-1 定款に定める会議

会議名	開催年月日	開催場所等
定時総会	令和5年6月16日	八戸グランドホテル
理事会	令和5年4月25日	福祉公民館
	令和5年9月14日	福祉公民館
	令和5年12月15日	八戸パークホテル
	令和6年3月14日	福祉公民館

表17-2 その他の会議

会議名	開催年月日	開催場所等
安全・適正就業委員会	令和5年4月19日	福祉公民館
	令和6年3月7日	福祉公民館
普及啓発委員会	令和5年4月13日	福祉公民館
	令和5年6月20日	福祉公民館
	令和5年7月20日	福祉公民館
	令和5年9月11日	福祉公民館
	令和6年3月22日	福祉公民館
班長連絡会議	令和5年4月14日	福祉公民館
	令和6年1月25日	福祉公民館